



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日
東

上場会社名 カタクラ(片倉工業株式会社) 上場取引所
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 大呂 周平 (TEL) 03(6832)0229
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	11,157	△0.9	2,040	20.3	2,309	19.4	1,777	31.9
2025年12月期第1四半期	11,255	6.6	1,696	71.7	1,933	56.1	1,347	41.2

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 4,772百万円(ー%) 2025年12月期第1四半期 155百万円(△94.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	56.16	ー
2025年12月期第1四半期	41.77	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	154,849	102,618	64.9
2025年12月期	153,049	99,761	63.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 100,504百万円 2025年12月期 97,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	ー	ー	60.00	60.00
2026年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2026年12月期(予想)	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,800	0.2	2,700	△14.5	3,400	△12.2	2,550	△27.9	80.57
通期	41,100	1.1	5,500	△6.1	6,900	△4.4	5,200	△9.8	164.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	35,215,000株	2025年12月期	35,215,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	3,565,462株	2025年12月期	3,565,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	31,649,538株	2025年12月期 1 Q	32,268,042株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT-RS）」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT-RS）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、企業収益の底堅さを背景に設備投資にも改善の動きがみられました。

今後の国内景気については、雇用所得環境の改善や各種政策効果により緩やかな回復継続が期待されるものの、緊迫化する中東情勢等の地政学リスク、米国通商政策の影響、金融資本市場の変動などの不確実性が高まっており、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは引き続き積極的な事業展開を行うとともに構造改革を推進し、事業の安定化と収益性の向上に取り組んでおります。不動産事業では、さいたま新都心の競争力強化を継続するとともに、機能性繊維事業では、海外市場の開拓や生産能力の増強を行うことで、持続的な成長を目指しております。さらに、人的資本の拡充を図る取り組みなど、成長を支える基盤の強化にも注力し、中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

不動産事業では、さいたま新都心社有地におけるコクーンシティの競争力維持・向上を図るため、引き続き戦略的なテナントリニューアルや施設環境の整備を進め、エリア価値の向上に取り組んでまいります。また、コクーンシティ周辺で進めている賃貸マンションの開発計画を確実に推進するとともに、地方不動産については、物件ごとのライフサイクルや収益性を踏まえ、適切な再投資や資産の有効活用を通じて、安定的な収益の確保に努めてまいります。

医薬品事業では、毎年の薬価改定等により厳しい事業環境が継続する中、効率的な事業運営を一層推進してまいります。過年度から実施を進めている組織改革の効果を定着させるとともに、他社との新たな販売提携の推進や、自社販売体制における流通経路に応じた営業活動の最適化に取り組んでまいります。あわせて、後発薬の上市や既存薬の剤形追加・適応拡大を進め、循環器領域にとどまらず幅広い医薬品の開発を進めることで、収益性の改善と事業の安定化を図ってまいります。

機械関連事業では、消防自動車事業を中心に、安定的な受注環境のもと、生産体制の効率化や原材料価格等を反映した適正な価格設定を継続してまいります。加えて、仕様の集約による生産性向上や販売代理店との連携強化を進めるとともに、海外メーカーとの協業を通じた製品ラインナップの拡充により、事業の安定性と収益力の向上を図ってまいります。

繊維事業の機能性繊維事業では、耐熱性繊維を中心に需要動向を踏まえた海外市場の開拓を進めるとともに、本年後半に第4号焼成炉の稼働開始を見込み、生産体制の強化等に取り組んでまいります。また、水溶性繊維については、既存用途における販売の維持を図りつつ、将来の展開を見据えた取り組みを継続してまいります。

実用衣料事業では、事業構造の見直しと組織体制の再構築を継続し、収益性の改善を図るとともに、機能性インナー分野の強化を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、不動産事業で増収となったものの、機械関連事業の減収により、111億57百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。営業利益は、不動産事業の増益等により20億40百万円（同20.3%増）、経常利益は23億9百万円（同19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、17億77百万円（同31.9%増）となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりです。

① 不動産事業

不動産事業は、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」におけるテナントからの賃料収入の増加等により増収となりました。この結果、不動産事業の売上高は29億44百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は12億31百万円（同16.5%増）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、薬価改定の影響はあるものの、2025年12月に発売した『トルバプタンOD錠3.75mg「TE」』などの売上が寄与したことにより増収となりました。この結果、医薬品事業の売上高は26億26百万円(同3.3%増)、営業利益は、販売費及び一般管理費の減少等により1億25百万円(同458.5%増)となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、シャシのモデルチェンジの影響等による生産・販売時期の期ずれ等により減収となりました。この結果、機械関連事業の売上高は33億82百万円(同9.3%減)、営業利益は6億18百万円(同7.1%減)となりました。

④ 繊維事業

実用衣料事業は、機能性インナーが販売減となったものの、機能性繊維事業での耐熱性繊維等の販売が堅調に推移したことにより、売上高は前期並みとなりました。この結果、繊維事業の売上高は16億15百万円(同0.2%増)、営業利益は2億75百万円(同58.2%増)となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等により構成しております。

印刷紙器の販売減等により、その他の売上高は5億88百万円(同5.7%減)、営業損益は14百万円の損失(前年同四半期は7百万円の損失)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,548億49百万円(前連結会計年度末比17億99百万円増、同1.2%増)となりました。

これは、現金及び預金が減少したものの、投資有価証券が増加したことが主因です。

(資産の部)

流動資産は、545億86百万円(前連結会計年度末比39億40百万円減、同6.7%減)となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品であり、それぞれ23億56百万円、4億95百万円、7億93百万円減少しました。

固定資産は、1,002億62百万円(前連結会計年度末比57億39百万円増、同6.1%増)となりました。増減の主要な項目は、有形固定資産のその他、投資有価証券であり、それぞれ13億94百万円、45億16百万円増加しました。

(負債の部)

流動負債は、173億11百万円(前連結会計年度末比19億56百万円減、同10.2%減)となりました。増減の主要な項目は、未払法人税等、その他であり、それぞれ4億17百万円、14億35百万円減少しました。

固定負債は、349億18百万円(前連結会計年度末比8億99百万円増、同2.6%増)となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、長期借入金は5億8百万円減少し、繰延税金負債は13億25百万円増加しました。

(純資産の部)

純資産は、1,026億18百万円(前連結会計年度末比28億56百万円増、同2.9%増)となりました。増減の主要な項目は、その他有価証券評価差額金であり、29億97百万円増加しました。また、自己資本比率は64.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,491	29,134
受取手形及び売掛金	8,105	7,609
リース投資資産	5,133	5,052
商品及び製品	5,359	5,679
仕掛品	2,747	1,953
原材料及び貯蔵品	3,492	3,289
その他	2,199	1,869
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	58,526	54,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,064	20,759
土地	16,785	16,790
その他(純額)	3,569	4,964
有形固定資産合計	41,420	42,514
無形固定資産	512	631
投資その他の資産		
投資有価証券	43,321	47,838
退職給付に係る資産	8,598	8,621
その他	675	662
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	52,590	57,117
固定資産合計	94,523	100,262
資産合計	153,049	154,849

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,702	4,384
短期借入金	2,761	2,699
1年内返済予定の長期借入金	1,956	1,956
未払法人税等	1,235	818
賞与引当金	237	514
その他	8,375	6,939
流動負債合計	19,268	17,311
固定負債		
長期借入金	2,962	2,453
長期末払金	582	508
繰延税金負債	15,538	16,864
役員株式給付引当金	120	137
土壌汚染処理損失引当金	55	55
退職給付に係る負債	1,816	1,807
長期預り敷金保証金	9,432	9,557
資産除去債務	2,447	2,451
その他	1,064	1,083
固定負債合計	34,019	34,918
負債合計	53,287	52,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	16,545	16,612
利益剰余金	59,307	59,175
自己株式	△5,846	△5,846
株主資本合計	71,824	71,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,027	25,024
繰延ヘッジ損益	47	53
退職給付に係る調整累計額	3,746	3,666
その他の包括利益累計額合計	25,822	28,744
非支配株主持分	2,115	2,114
純資産合計	99,761	102,618
負債純資産合計	153,049	154,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,255	11,157
売上原価	7,417	7,110
売上総利益	3,838	4,046
販売費及び一般管理費	2,142	2,006
営業利益	1,696	2,040
営業外収益		
受取配当金	237	266
その他	67	49
営業外収益合計	304	316
営業外費用		
支払利息	32	31
その他	34	15
営業外費用合計	66	47
経常利益	1,933	2,309
特別利益		
固定資産売却益	47	—
特別利益合計	47	—
税金等調整前四半期純利益	1,981	2,309
法人税、住民税及び事業税	428	583
法人税等調整額	201	△53
法人税等合計	630	530
四半期純利益	1,351	1,778
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,347	1,777

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,351	1,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△719	3,068
繰延ヘッジ損益	△67	5
退職給付に係る調整額	△409	△80
その他の包括利益合計	△1,196	2,993
四半期包括利益	155	4,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196	4,699
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
不動産賃貸に付随 するサービス	171	—	—	—	—	171	—	171
医療用医薬品販売	—	2,542	—	—	—	2,542	—	2,542
消防自動車販売	—	—	3,730	—	—	3,730	—	3,730
実用衣料販売	—	—	—	865	—	865	—	865
機能性繊維販売	—	—	—	714	—	714	—	714
その他	—	—	—	—	623	623	—	623
顧客との契約から 生じる収益	171	2,542	3,730	1,579	623	8,647	—	8,647
その他の収益(注)4	2,574	—	—	33	—	2,607	—	2,607
外部顧客への売上高	2,746	2,542	3,730	1,612	623	11,255	—	11,255
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	—	—	96	106	△106	—
計	2,756	2,542	3,730	1,612	719	11,362	△106	11,255
セグメント利益 又は損失(△)	1,056	22	666	174	△7	1,911	△215	1,696

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215百万円には、セグメント間の取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
不動産賃貸に付随 するサービス	174	—	—	—	—	174	—	174
医療用医薬品販売	—	2,626	—	—	—	2,626	—	2,626
消防自動車販売	—	—	3,382	—	—	3,382	—	3,382
実用衣料販売	—	—	—	778	—	778	—	778
機能性繊維販売	—	—	—	794	—	794	—	794
その他	—	—	—	—	588	588	—	588
顧客との契約から 生じる収益	174	2,626	3,382	1,572	588	8,344	—	8,344
その他の収益(注)4	2,770	—	—	42	—	2,812	—	2,812
外部顧客への売上高	2,944	2,626	3,382	1,615	588	11,157	—	11,157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	—	—	105	115	△115	—
計	2,954	2,626	3,382	1,615	693	11,272	△115	11,157
セグメント利益 又は損失(△)	1,231	125	618	275	△14	2,237	△197	2,040

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売及び訪花昆虫の販売等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197百万円には、セグメント間の取引消去△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	704百万円	720百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。